

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

2011
No. 530

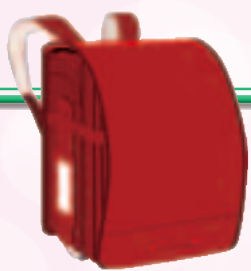
たのはた

5

がんばろう！
田野畑

「ハイ！」

4月11日、田野畑小で行われた入学式。新1年生25人は担任から名前を呼ばれると、元気な声で「ハイ！」と返事。在校生に温かく迎えられ、小学校生活をスタートさせました。



ぼくたち わたしたち
ピッカピカの いちねんせい

翼

羽ばたけ 26の

田野畑小に入学した新1年生。
村の未来を担う子どもたちに、
将来の夢を書いてもらいました。
「おおきくなったら
なにになりたい？」



佐々木 優成くん 明戸

ほけもん
ますたー



藤島 快斗くん 沼袋

しんぼうし



熊谷 宗一郎くん 田代

おかしせんせい



小野寺 楓くん 西和野

こっくせん



佐々木 美野里ちゃん 島越

ガムゴシせん



三上 歩美ちゃん 北山

こっくせん



下机 琉叶くん 机

りょうし



松頭 琴都ちゃん 北山

ひょうたん



佐藤 悠稀くん 田野畑

お水かん



川畑 颯太くん 羅賓

ガムゴシせん



橋本 花音ちゃん 真木沢

かんごしせん



佐藤 愛華ちゃん 田野畑

おとしのうた



和山 直代ちゃん 真木沢

けいさかん



佐藤 深子ちゃん 田野畑

おはなやさん



佐々木 菜名ちゃん 菅窪

かしや



岡野 佑那ちゃん 菅窪

ぱてしえ



工藤 美柚ちゃん 西和野

けいさかん



工藤 玖羽ちゃん 真木沢

おとしのうた



澤柳 未来ちゃん (岩泉小へ)

かんごしせん



川畑 颯羽くん 羅賓

ぱてしえ



熊谷 桜ちゃん 浜名泉

しいくがかり



中村 海翔くん 羅賓

りょうし



横田 晃祐くん 美台

おみせせんせい



佐々木 澄風ちゃん 尾肝斐

がっこうのせんせい



佐藤 凜ちゃん 尾肝斐

おはなやさん



三浦 快斗くん 島越

ぱてしえ

3.11 大津波襲来



平成23年3月11日午後2時46分、
 本村で震度4を観測した「東北地方太平洋沖地震」が発生。
 マグニチュード(M)9.0という想定外の地震は、大津波を引き起こし、
 その第1波が同日午後3時25分ごろ本村沿岸部を襲いました。
 10メートルを大きく上回る大津波は繰り返し押し寄せ、
 多くの尊い命、幸せな生活、大切な財産を一瞬にして奪い去りました。
 今月は、災害緊急特集として津波の被害状況を写真でお知らせします。
 この悲惨な状況を村の皆さん全員に知っていただき、
 村の力を一つにして、復興に取り組まなければなりません。
 そして、災害の恐ろしさを忘れることなく、後世に伝えるために――。

ものすごい勢いで村の沿岸部に襲いかかる大津波。(3月11日午後3時26分ごろ、鵜の巣断崖より撮影)

「本村」の被害状況(4月6日現在)

項目	被害額	概要
住家	37億5923万円	267戸
非住家	10億4365万円	311棟
社会福祉施設	2億3681万円	マレットゴルフ場など
消防施設	1億1826万円	積載車、消火栓など
観光施設	13億5550万円	羅賀荘など
ガス施設	1億7880万円	製氷、冷凍、貯蔵など
水産施設	55億8934万円	漁船517など
漁港施設	19億8920万円	係留施設など
家畜関係	324万円	家畜36ト
林業関係	3243万円	林産物39,000本など
公共土木関係	4億2600万円	河川6、道路19、橋2
公営住宅	4000万円	島越4戸
漁業集落配水施設	12億800万円	2施設
水道施設	2億500万円	2施設
合計	161億8545万円	

死者17人、行方不明者21人(い
 ずれも村民)。住宅や倉庫は、
 全壊495戸など582戸もの
 建物が被害を受けました。水産
 施設の被害も甚大で、500以
 上の漁船を失い、養殖施設も壊
 滅しました。
 停電や通信手段の断絶など、
 ライフラインも寸断され、その
 混乱は沿岸部のみならず村全体
 に広がりました。4月6日現在
 の被害額は160億円を超えて
 います。次ページからは、被害
 状況を写真でお伝えします。

M9.0。この国内観測史上
 最大のエネルギーによって引き
 起こされた激震は、村を数分間
 にわたって大きく揺さぶりまし
 た。地震のエネルギーは、平成
 7年に起きた阪神淡路大震災の
 数百倍にも相当するといわれて
 います。震源は宮城県牡鹿半島
 の東南東約130キロ付近で震
 源の深さは約24キロ。震源域は
 岩手県沖から茨城県沖までの
 500キロにも及びました。
 本村では震度4を観測。村は
 地震発生と同時に災害対策本部
 を設置。14時49分に大津波警報
 が発表されると同時に防災行政
 無線で沿岸地区に避難指示を発
 令しました。宮古消防署田野畑
 分署員や村消防団員は、沿岸部
 の水門などを閉鎖。懸命に避難
 を指示して地区を巡回しました。
 しかし、M9.0という地震
 が引き起こした津波の威力はす
 さまじく、防波堤を乗り越え、
 漁船をのみ込み、住宅をなぎ倒
 し、尊い人の命までも奪い去
 りました。そして、沿岸地区に
 は目を背けたくなるような惨状
 が広がりました。
 避難所のアズビイホールなど
 には、600人を超える人が避
 難。不安な夜を過ごしました。
 4月22日現在の村の被害は、



津波にのまれ、がれきの中で止まったままの時計。午後3時25分、多くの尊い命、大切な財産を津波が奪った（羅賀、拓洋館付近）



暗闇の中、ストーブで暖をとる避難者



停電の中、役場では夜を徹して情報収集

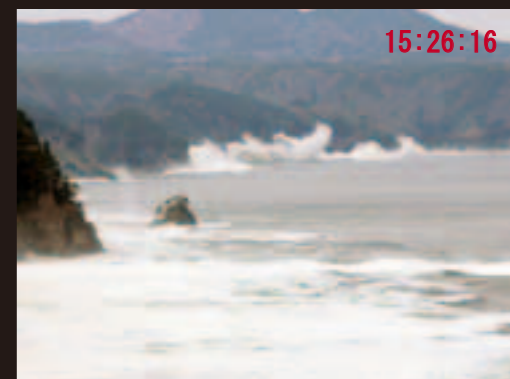
襲来



15:25:18



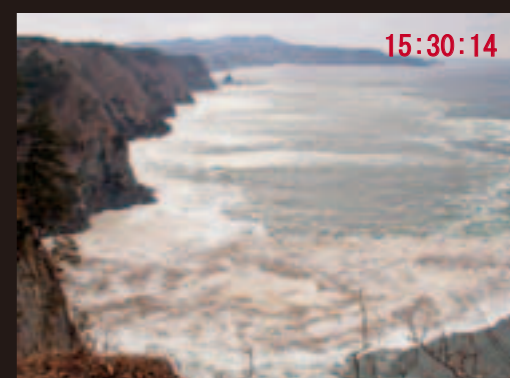
15:25:58



15:26:16



15:29:16



15:30:14

平成23年3月11日 午後3時25分 村の沿岸部を巨大津波が飲み込んだー

一夜明け、12日。そこには想像を絶する光景が広がっていた――。

そして、消防団などの昼夜を問わない、懸命の救助活動が連日繰り返された

【机】



体験観光の拠点も全てが津波で消え去った

【明戸】



防潮堤は破壊され、防潮林も姿を消した



波にもまれたのか、ねじれたトタン

【羅賀】



1階を破壊され2階部分だけの住宅も



住宅も車も全てが津波に押し流された



重なり合う住宅に手も足も出ない

【島越】



左手前の基礎部分から大きく流れた黎明館



駅前には宮澤賢治の歌碑が残るだけ



三鉄の高架は崩れ落ちレールも流された



羅賀地区やホテル羅賀荘に襲いかかる大津波（撮影者、時間不明）



明戸浜付近に襲いかかる津波（岩手日報社提供・15時36分ごろ）



防潮堤の中に海水がたまった状態の平井賀地区（16時07分ごろ）

※鶴の巣断崖から撮影。写真内の時間はカメラ内蔵時計のため、若干の誤差があります

【カルボナード島越駅】



平成14年 7月

駅舎や線路、住宅など全てが大津波に飲み込まれた

【羅賀・平井賀集落】



平成17年10月

係留していた漁船も流され、住宅も高台に数戸を残すのみとなった

【明戸・生活体験館】



平成22年 4月

生活体験館は全壊し、魚センターの2階部分だけが残った

【机浜番屋群】



平成21年 7月

番屋群やトイレ、建設中だった製塩施設など全てが消え去った

※年月は被災前の写真撮影日

「まさか、こんな大きな津波が来るとは…」
 たくさんの尊い命、大切な財産を一瞬で奪い去った大津波。目の前には、目を背けなくなる、つらく悲しい惨状が広がっています。「ひどい…」「何も無い…」そんな言葉だけでは言い表すことができないほど大きな被害を受けた村沿岸部。被災前後の様子を比べるため、過去の写真をひもといてみると、いつもの、普段の風景写真があまりにも少ないことに気がきました。何かあってから気付く、普段どおり、いつもどおりということが、いかに幸せかということ—。

今はまだ思い出したくない、考えたくないという人も多いかもしれません。しかし、この目を背けたくないような惨状は現実はこの村に起こったことです。

どうか目を背けずに見てください。そして目に、記憶に焼き付けてください。これが東日本大震災。村を襲った大津波の大きすぎる爪痕です。

目を背けず 記憶に焼き付けてほしい
変わり果てた村

惨状

【島越・村漁協】



平成14年 6月

漁協事務所は流出し製氷施設も骨組みを残すのみとなった

【島越・郵便局付近】



平成19年 9月

津波は住宅を飲み込み、そこにあった幸せな生活も奪い去った

【ホテル羅賀荘】



平成20年 1月

ホテル3階にまで押し寄せた津波は客室や大浴場などを破壊

【羅賀・大宮神社から】



平成21年 2月

住宅や防災センターを襲った津波は羅賀児童館前まで押し寄せた

【羅賀】



【明戸】



【島越】



4月7日、自衛隊の協力により、村内の被害状況を上空から撮影。鵜の巣断崖駐車場からヘリコプターに搭乗して飛び立つと、眼下に広がったのは津波の大きすぎる爪痕。破壊され原形をとどめない防潮堤、そこにあったはずの住宅地や防潮林の数百本ものクロマツ……。これほどのものを一瞬で奪った大津波のすさまじい破壊力をあらためて見せつけられました。

眼下に広がる**惨状**。見せつけられた津波の**すさまじい破壊力**

支援



①全国各地から毎日のように届けられる救援物資。「自分たちへの善意は自分たちで受け取ろう」と避難所の皆さんも率先して運搬 ②田野畑校の生徒も衣類の仕分け作業などボランティアに積極的 ③4月8日、アズビィホール前で自衛隊第9音楽隊が演奏会。約300人が音楽を楽しんだ ④机出身の上村豊さん(31)＝北海道旭川市・陸上自衛隊第2師団第2特科連隊第5大隊所属＝も村内で捜索活動などに従事。「1歳の息子に早く田野畑のきれいな海を見せてあげたい」とあいさつ ⑤4月4日、友好都市の埼玉県深谷市の小島進市長が来村。深谷市からは米や野菜などの物資の他、避難所では保健師が健康相談などにあたっている ⑥避難所内に理容所が開店。利用者は髪を切って気分転換 ⑦3月27日、岩手町商工会青年部が「いわてまち焼きうどん」を炊き出し ⑧同日には村商工会青年部が避難所で焼きおにぎりを炊き出し



村内では、内陸部の自治会などが炊き出しを支援。岩泉高校田野畑校の生徒も支援物資の仕分け作業などに連日汗を流してくれました。一番大変でつらい思いをしている被災者の皆さんも厳しい状況の中、避難所内に自治組織を結成し、食事準備や避難所の清掃を協力し合っています。

このようにして広がった支援や協働の輪は、復興に向けて歩み出した田野畑村の、大きな支えになるはず

大震災直後から、村には支援物資が毎日のように届けられました。水、食料、衣料、日用品など全国各地から寄せられる善意は、避難所生活を余儀なくされた被災者の命をつなぎました。そして、大災害の応急対策を支援しようと、村に駆け付けてくれた人たちもいます。全国から村に集まった自衛隊員や警察官などの頼もしい応援隊は、不慣れた土地にもかかわらず田野畑村のために力を尽くしてくれました。



全国に広がる支援の輪 つながる心
村に集まる善意

伝承

伝えたい 伝えなければならない 私の津波体験

今回の大震災では、とても多くの皆さんが津波を体験しました。まだ思い出したくない人、話したくない人、考えたくない人もたくさんいると思います。それと同時に、体験した皆さん一人一人に、伝えたいことやそれぞれの思いがあると思います。

今回は早野一弘さんと工藤房子さんの2人に、貴重な体験を伺いました。「自分の体験を話すことで、これからの人に津波のことを伝えていければ」と快く協力くださいました。

2人の話しに共通していたのは、もちろん津波が恐ろしいものであること。そして、村内や全国からの支援を受け、あらためて人の心の温かさを知ったということでした。

自然が牙をむく日は、いつやって来るか分かりません。皆さんの体験を伝えていくことが、多くの命や財産を守ることにつながると信じ、「広報たのはた」はこれからも皆さんの体験を伺っていきます。



島越 工藤 房子さん(69)

教訓にするには、あまりに大きすぎる犠牲

保健センターで食改善グループ役員会の最中に地震がきました。よく覚えていませんが、とにかく大きい揺れで、ストーブを消して慌てて外に逃げたと思います。地鳴りのようなものが聞こえ、建物は揺れるというよりも横に動いている感じ。今まで感じたことのない地震で、これはただ事ではない、津波が来ると思いました。

揺れが少し収まったときに、足が痛くて歩くのが大変な無二の友人が心配になり、車で島越に向かいました。それと、きっと駅の人にも心細くしてたと思って…。島越に着くと、友人も駅の人も避難したあとでした。安心して、自分も自宅に車を止めて、自宅裏の避難場所に向かいました。津波が来るとは思ったんだけど、まさかあんなに大きなものだとは想像もしていませんでした。

第1波か2波かは分からないけど、すごい勢いで水が増えてきて、「ダーン」とか「ドーン」とかとにかく大砲のような音が聞こえました。堤防とか水門、黎明館が壊れる音だったんでしょうね。そのうち誰かの「上がれー、まっとうさ上がれー」と叫び声が聞こえ、自分ももっと高いところに逃げようと思いました。

その時、自分がいる避難場所に

向かう通路を2人が上ってきました。1人は誰だか覚えていませんが、もう1人はつえをついた近所のおばあさん。私はおばあさんと必死で手をつないで逃げました。

間に合いませんでした……。2人とも津波にのまれ、水の中でがれきと一緒にぐるぐると回りました。いつ手を放したのかは覚えていません。水を飲んだら駄目だと思って必死でした。でも、だんだん息が苦しくなり、「あーこれで終わりだな」と思ったときに水がひき、息をすることができました。それと同時に、今度は大量のがれきが体の上のしかかってきました。その後、何とかがれきの中から救出してもらい、アズビィホールに避難することができました。皆さんの一丸となった支援に本当に感謝しています。

教訓にするには、あまりにも大きすぎる犠牲。それでも生きていかなければならないし、海を捨てるわけにもいきません。私は漁業はしていないけど、海で暮らしてきた者として、やっぱり海と向き合って行かなければならないと思います。今は、何事もなかったかのように寄せては返している静かな海。こんな海が牙をむく日がこないことを願いながら、経験を後世に伝えていきたいです。

てんでんこ、先人からの教えが一番だった

「まさか、ここまで…」「いつかは来っと思ってだったも…」

3月11日は浜のなぎも良く、午前中にシュウリ採り。それを誰に配っかなと考えているときに大きな地震が来た。何かの下に隠れるよりも、外に出た方が安全だと思って飛び出した。今まで経験したことのない大きくて長い地震。直感的に「来る！」と確信した。

揺れが収まり、近所の老人宅や平井賀郵便局を確認したあと、駐在所付近で海を見た。その時、普段の干潮よりも少し多く潮が引いていった。それから少しずつ満潮のようになり、鳴門海峡のような渦を巻いていた。海面がだんだん高くなり、岸壁のクレーンを押し倒し、船が沈んだりひっくり返ったりするのが見えた。その波が引かないうちに「ドーン」と第2波が来た。真っ白く上がるしぶきの下から、ものすごい勢いで津波が押し寄せた。自分がいた場所よりも高く感じ、ここじゃ駄目だと思い、「逃げろー、逃げろー」「駄目だ、もっと上だ、上がれー、上がれー」と、叫びながら逃げた。

津波の様子をうまく表現することはできないが、例えるなら洪水の濁流が下から上がってくるような感じで、ものすごいスピードだった。逃げる途中、家に居たは

ずの妻や娘、孫が脳裏をよぎったが見ている時間などなく、「見でいれねえぞー」と叫びながら坂を駆け上がった。幸い家族も、俺の叫び声を聞いて先に避難していた無事だった。先人たちが伝えてきた「てんでんこ」はこのことだと実感した。足元から数十センチのところまで津波が押し寄せたが、何とか助かった。その後も津波が何度も押し寄せたが、第2波が一番大きかったと思う。

「まさかー」と、ほとんどの人が話す。でも「まさかと思う油断」はもうやめたいし、皆さんにもやめてほしい。とにかく地震があったら、1分でも1秒でも早く、1メートルでも1センチでも高いところに逃げる。これが大事だと痛感させられた。

これからの俺にできることは、今回の教訓をうるさいって言われるぐらい教えて行くことだと思う。年はとったけど、あと一踏ん張り。この経験を風化させないように伝えることが一番大切だと思う。机上で考えたことや学者の言うことよりも、経験した人じゃないと分からないことがいっぱいあるはずだから。

大切なのは「伝えていくこと」。先人の教えのおかげで自分も今、こうやって生きているんだから。



防波堤を越えた津波の第2波はものすごい勢いで押し寄せ、住宅、駐在所、車などを次々とのみ込んでいった



早野 一弘さん(64)

復興



3月29日からは消防団、自衛隊、警察などが連携し、がれき撤去作業も始まった



漁港施設内の海底に沈む消波ブロックや車の撤去作業も進んでいる(3月31日)

明日への 確かな一歩

3月29日、島越と切牛地区の漁協組合員など約100人が島越漁港内のがれき撤去作業を実施。復興に向け、力を一つにした取り組みが始まっている



「がんばろう！田野畑」
これまでも田野畑村は、津波などの災害を何度も乗り越えて力強く歩んできました。今こそ私たち村に生きるみんなの力を、そして心一つにして、この困難に立ち向かいましょう。きっと今回の大災害も乗り越えられるはずですよ。そして、災害の記憶を忘れることなく、後世に伝えていきましょう。あの日、あの時、何ができて何ができなかったのかを……。津波の恐ろしさ、復興の歩みを……。自然が牙をむく日はいつやって来るかわかりません。その時に、被害を最小限に抑えるために。

「がんばろう！田野畑」

長い年月をかけて私たちが積み重ねてきたものを、一瞬で奪い去った3月11日の大津波。多くの尊い命、大切な財産を奪ったあの日から、もうすぐ2カ月が過ぎようとしています。村内では、がれきの撤去作業などが進む一方、依然として23人もの安否が不明です。しかし、いつまでも嘆いてばかりはいられません。私たちは復興に向けて前を向き、この大きな試練を乗り越えなければなりません。



1日も早い完成を目指し、仮設住宅も急ピッチで建設中(4月14日・田野畑校)



浸水した場所への消石灰散布には村内から多くのボランティアが集まった(3月25日)



旧羅賀小学校前の梅。春の訪れを告げるように小さな花を咲かせ始めた(4月1日)



入学式を終え、保護者に見守られながら初めての授業

希望を胸に25人が小学校入学

田野畑小（児童175人）の入学式は4月11日、同校体育館で行われました。在校生や保護者の温かい拍手で迎えられた、かわいらしい新1年生25人。少し緊張しながらも担任に名前を呼ばれると「ハイ」と元気よく返事をしていました。同校PTAの畠山哲会長は「1年生の皆さんはしっかり勉強して、仲良く遊んでください。全校で心をつなぐ、はつらつとした学校にしましょう。それが地域の希望になり、力になります」とお祝いの言葉を送りました。

思い出胸に中学校巣立ちの日

田野畑中（佐々木幸彦校長、生徒121人）の卒業式は3月18日、同校多目的ホールで開催され、41人がそれぞれの道を歩み始めました。卒業生たちは本年度、「田中一揆太鼓」の迫力ある演奏で観衆を魅了するなど大きな功績を残しました。佐々木校長は「村の復興は皆さんの手に委ねられています。希望を持ちましょう」とあいさつ。卒業生代表の佐藤由季也君は「私たちは人を助け、助けられながら、これからの人生を歩んでいきます」と答辞を述べました。



「いつも支えてくれる人がいたから成長できた」と答辞を述べる佐藤君

制服に身を包み新生活始まる

田野畑中（生徒122人）の入学式は4月7日、同校多目的ホールで開催され、制服に身を包んだ42人が中学校生活をスタートさせました。佐々木校長は「人間は夢や目標に向かって成長します。被災に負けず前向きに、夢と希望を持って生活しましょう」と式辞。新入生を代表して工藤心君は「伝統ある田中に入学できてうれしいです。自分から進んで行動し、行動に責任を持ちます。今、何をすべきかを考えながら学校生活を送りたいです」と力強く誓いました。



新入生を代表して誓いの言葉を述べる工藤君

田野畑小で統合後初の卒業式

田野畑小（早川幸男校長、児童190人）の卒業式は3月18日、同校体育館で開催されました。式では42人の卒業生一人一人に早川校長が卒業証書を授与。早川校長は「全員に卒業証書を渡せてうれしいです。統合した学校を引っ張ってくれた皆さんは、家族や地域の希望の光。強い心、思いやりの心を結集しましょう」と激励。卒業生たちは「強く、たくましく、最後まで頑張ることを忘れずに進んでいきます」と力強く呼び掛け、学びやを巣立ちました。



卒業証書を受け取る田野畑小第1号卒業生 佐藤優月君



4月19日、村長に特別優良表彰旗の授章を報告

消防団に県知事から最高表彰

村消防団（小松山樹雄団長）はこのたび、平成22年度岩手県消防表彰で「県知事特別優良表彰旗」を授章しました。表彰式は3月16日に盛岡市で行われる予定でしたが、震災により中止。4月18日に表彰旗が届きました。小松山団長は「われわれ消防団は、地震直後から水門閉鎖、避難誘導、そして救助活動などを行ってきました。志し半ばで津波の犠牲になった団員や村の皆さんの意志を引き継ぎ、村復興へ一丸となって取り組んでいきます」と力強く話しました。

田高卒業し社会へ歩み始める

岩泉高校田野畑校（夏井敬雄校長、生徒16人）の卒業式は3月4日、同校体育館で開催され、2人の卒業生が学びやを巣立ちました。在校生の坂本奈々美さんは「苦しいときはここで学んだことを思い出してください。きっと解決のヒントになります」と送辞。卒業生の坂上將平君は「少ない人数だから経験できたこともあり、充実した学校生活でした。ここで過ごした3年間を無駄にしないように頑張ります」と答辞を述べ、社会人への一歩を踏み出しました。



卒業式後に開催された「送る会」で後輩からエールを受ける卒業生

お知らせ

震災関係お知らせ

BSデジタルでのテレビ視聴

羅賀・島越地区のNHK共聴施設は現在、復旧作業中ですが、完了時期は未定です。

総務省では、震災によりテレビを視聴できなくなった人を対象に、BSデジタル放送を使った「地デジ難視対策衛星放送」(東京キー局放送の再送信)の一時利用を始めていますので、ご利用ください。

- ◆条件…BSアンテナとBSデジタル放送対応テレビ、チューナーを持っている世帯など
- ◆視聴期間…約半年間
- ◆申込手順…

【事前に電話で申し込み】

- ①次のことを伝えてください。
B-CASカード番号*、住所、氏名、電話番号
*番号は、テレビに差し込まれているカード自体に記載されています。また、NHKのBS放送を受信してから、リモコンの青ボタンを5秒以上押し続けられれば、テレビ画面にも表示されます

【電話申し込み後】

- ①テレビやチューナーで「BS291」チャンネルを受信してください(青または黒色の画面が表示されますが、5分程度待てば、通常画面に切り替わります)
- ②後日郵送される申込書類に必要事項を記入の上返送する
- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111内線63)、総務省地デジ難視対策衛星放送受けセンター(☎0570-08-2200、☎045-345-0522)

完全デジタル化延期します

今年7月24日に予定していたテレビ放送の完全地上デジタル放送への移行。今回の震災に伴い、岩手県は延期されることになりました。期間は未定です。延期にはなりましたが、準備ができる人は、早めの準備を心掛けてください。

- ◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

国民年金保険料の免除

震災で住宅、家財、その他の財産についておおむね2分の1以上の損害を受けた人は、本人からの申し出によって国民年金保険料が全額免除になります。免除となる対象者や詳細、申請手続きについては、役場生活環境課または年金事務所に問い合わせてください。口座振替を利用している人は、口座振替の停止手続きが必要です。

- ◆申請期限…7月31日(日)
- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線23)、宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

水道料・排水使用料を免除

島越・羅賀・明戸行政区の水道、島越・羅賀行政区の集落排水施設の3月分使用料を全額免除します。自宅生活者は4月分から、これまでどおりに請求します。また、住宅流出などの場合は、役場で利用中止処理をしますので、手続きの必要はありません。

- ◆問い合わせ先…地域整備課(☎34-2113 内線51)

避難所での感染症を予防

避難所での集団生活は、インフルエンザなどの感染症が広がりがちです。次のことに気を付け、健康に過ごしましょう。

- ◆インフルエンザ予防
 - ・手洗い、うがい
 - ・マスクの着用、換気
 - ・水分補給
- ◆食中毒予防
 - ・ペットボトルなどにくみ置きした水は、その日のうちに飲みきる
 - ・手洗い、うがい(消毒)
 - ・下痢、嘔吐などの症状がある人は調理をしない
 - ・出された食事は、その日のうちに食べる
- ◆エコノミークラス症候群予防
 - ・散歩や軽い体操
 - ・水分補給
- ◆その他
 - ・作業をするときはけが予防のため、厚底の長靴、手袋、マスクをする。破傷風の予防にもなります
 - ・歯磨きをして、口の中を清潔に保つ
- ◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

被災地での拾得物について

被災地での財布や金庫、カードなどの拾得物のうち、所有者の判明したものは、随時皆さんにお返ししています。所有者が判明できないものは、岩泉警察署に保管してありますので、心当たりの人は早めに岩泉警察署に照会してください。

- ◆問い合わせ先…岩泉警察署(☎31-0110)

その他のお知らせ

子ども手当の支給について

本年度の子ども手当は、4月から9月までの6カ月間、引き続き支給されます。

- ◆支給金額…子ども1人につき1万3千円
- ◆支給対象…0歳～中学3年生
- ◆支給日…
6月8日(2月～5月分)
10月7日(6月～9月分)
- ◆その他…毎年6月に提出いただいていた「現況届」は不要となります。ただし、10月以降に届出や申請が必要になる場合もあります
- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線23)

小中学生の医療費を助成中

村は、就学前の乳幼児の医療費助成事業に加え、小中学生の自己負担分の医療費も助成しています。

- ◆対象…小学生、中学生
- ◆助成期間…就学時から15歳に達した3月31日まで
- ◆所得制限…なし
- ◆対象医療機関…保険医療機関および保険薬局
- ◆給付方法…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担分を支払った後、役場に申請
- ◆申請方法…医療費(一部負担金)の領収書、健康保険証、金融機関の口座番号(保険者名義)、印鑑を持参の上、役場生活環境課で所定の用紙に必要事項を記入して申請
- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

ペットボトルは手つぶしも可に

現在ペットボトルは、資源ごみとしてつぶさずに収集しています。4月1日からは、袋に入る量を増やすため、手つぶすことも認められるようになりました。つぶすときは、けが防止のため軍手などを使用しましょう。つぶす前には、これまでどおりふたとラベルを外し、本体をきれいに洗ってください。

- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線21)



※ペットボトルは横つぶしにしてください

テレビリモコンもリサイクルへ

テレビやエアコンは、家電リサイクル法でリサイクルが義務付けられています。それに付随したリモコンもリサイクルの対象になりますので、次のとおり取り扱ってください。

- ◆リサイクル時の注意…
 - ①テレビやエアコンをリサイクルに出すときは、リモコンも一緒に出す
 - ②リモコンだけ残っている場合は、テレビやエアコンを引き渡した小売店に渡す
 - ③小売店に拒否された場合は、日本通運(株)宮古営業所に直接持ち込む
※いずれの場合も処分料は無料
- ◆問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線21)

固定資産課税台帳を縦覧

固定資産税の課税の基になっている「固定資産税課税(補充)台帳」を縦覧します。土地の売買や家屋の取り壊しがあった場合、台帳の内容が訂正されていないと誤って課税されることがありますので、確認をお願いします。

- ◆縦覧期間…5月31日(火)まで
- ◆縦覧時間…午前9時～午後5時(※土日祝日を除く)
- ◆縦覧場所…役場税務課
- ◆問い合わせ先…税務課(☎34-2112 内線31)

村税納付に口座振替の利用を

村税の納付は、口座振替がお勧めです。口座振替なら村税を納めに行く手間が省け、納め忘れの心配もなく、安心確実です。

- ◆手続き方法…預貯金通帳と通帳届出印鑑を持ち、下記の金融機関の窓口で手続きをください。納税義務者と口座名義人が異なる場合でも口座振替が可能です
- ◆取り扱い金融機関…①北日本銀行本店、支店 ②岩手銀行岩泉支店 ③新岩手農業協同組合田野畑支所 ④岩手県信用漁業協同組合連合会田野畑村支店 ⑤ゆうちょ銀行または村内の各郵便局
- ◆取り扱い村税…①個人村県民税(普通徴収) ②固定資産税 ③軽自動車税 ④国民健康保険税
- ◆開始日…金融機関で手続きした日の翌月末の納期分から
- ◆問い合わせ先…税務課(☎34-2112 内線33)

人口と世帯	火災
4月1日現在()は前月比	(2月22日～4月22日)
人口 3,931人(-34)	火災の【今月】0件
男 1,929人(-15)	発生件数【今年】0件
女 2,002人(-19)	無火災の連続記録
世帯 1,450世帯(-2)	(4月22日現在)310日

おめでた おくやみ

〔平成23年2月届け出分〕
(一部敬称略)

●生まれた赤ちゃん
金子 衣織 (いおり)ちゃん
裕輔・恵 沼 袋

♥ご結婚おめでとう
上机 康夫 机 机
奥 智恵美 久慈市 ♥ 机

■ご冥福をお祈りいたします

畠 山 光 郎 (71) 田野畑
北 川 チトセ (91) 菅 窪
阿 部 フクエ (90) 島 越
熊 谷 勝 吉 (75) 田 代
佐 藤 タ マ (92) 田野畑

〔平成23年3月届け出分〕
(一部敬称略)

●生まれた赤ちゃん
佐々木 興陽 (こうよう)くん
大・文加 島 越

■ご冥福をお祈りいたします

高 橋 卷 子 (55) 菅 窪
熊 谷 胤 雄 (83) 大 芦
熊 谷 英 喜 (39) 菅 窪
畠 山 啓 子 (79) 七 滝
八 角 静 江 (85) 島 越
佐々木 卓 也 (46) 島 越
本 波 勝 人 (50) 島 越
工 藤 優 (59) 島 越
長 尾 若 男 (71) 島 越
工 藤 サチヨ (37) 明 戸
畠 山 喜 敏 (77) 島 越
工 藤 マ ヨ (82) 島 越
畠 山 子 健 太 (18) 田 代
熊 谷 繁 (79) 沼 袋
後 藤 壽 (74) 島 越
工 藤 フ ミ (80) 島 越
宮 本 秋 雄 (61) 島 越
佐々木 眞 (73) 大 芦
工 藤 明 (55) 大 芦

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に出してください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1500万7,449円 (4月20日現在)

296件 (村内82件、県内103件、県外111件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧くださいか、総務課 (☎34-2111 内線15) までご連絡ください。

村の話題②

交通死亡事故ゼロ4年を達成

村は3月2日で交通死亡事故ゼロ4年を達成し、県警本部長から表彰されました。伝達式は3日、役場談話室で行われ、瀬川正範岩泉警察署長から上机莞治村長に称賛状が手渡されました。上机村長は「村民の交通安全意識も高まっている。これからも安全安心な村づくりに努めていきたい」と話しました。村内で発生した最後の交通死亡事故は、平成19年3月(明戸地内)です。県内では大槌町、藤沢町に次ぐ死亡事故ゼロ期間となっています。



瀬川岩泉警察署長から表彰状を受け取る上机村長(左)

編集こぼれ話

3月11日に発生した東日本大震災。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。地震発生直後、私は鶴の巣断崖に向かいました。そこで目にした光景は今でも忘れることができません。ものすごい勢いで押し寄せる大津波。「ドーン」という大きな音。波が引いていくときの茶色く濁った水の色。カメラを構えても体の震えが指に伝わり、なかなかシャッターを押すことができませんでした。

私はそれから毎日、羅賀、島越、明戸、机と被害状況の記録のために走り回りました。津波の爪痕はあまりに大きく、惨状を見るのもカメラを向けるのも悲しくて、つらくて、涙があふれました。でも、この現実を伝えることが今の自分にできることだと言い聞かせ、シャッターを押し続けました。これからは復興の歩みを大切に、大切に記録していきます。私にも、この大震災を後世に伝えていく大切な使命があると信じて――。

(政策推進課 佐々木和也)

■狂犬病予防接種の巡回日程

日 時	場 所
5月19日(木)	9:10 猿 山・猿山バス停付近
	9:35 大 芦・牧原商店前
	10:00 浜岩泉・地区公民館
	10:30 真木沢・地区公民館
	11:00 切 牛・望洋館
	11:25 島 越・防災センター
	13:25 羅 賀・羅賀児童館
	13:45 明 戸・地区公民館
	14:05 池 名・地区公民館
	14:30 机 ・拓心館
5月20日(金)	14:50 北 山・北山崎入口付近
	15:45 田野畑・地区公民館
	16:00 田野畑・四方見山公園
	9:00 千 丈・地区公民館
	9:20 甲 地・三沢バス停付近
	9:40 甲 地・細沢バス停付近
	9:55 甲 地・佐藤幸蔵氏宅前
	10:10 甲 地・地区公民館
	10:25 沼 袋・旧フクゼン
	10:45 田 代・地区公民館
5月20日(金)	11:25 巢 合・地区公民館
	11:40 尾肝要・地区公民館
	11:55 板 橋・地区公民館
	13:40 西和野・農協裏の広場
	14:10 和 野・民宿藤波前
	14:40 菅 窪・畠山正一氏宅前
	15:30 七 滝・地区公民館
	15:50 七 滝・鉄山口バス停付近

※時間は受付終了時間です。時間を過ぎたら次の場所に移動します。10分前に到着する予定ですが、多少遅れる場合もありますので承ください

5月10日ごろ、犬を登録している人に「平成23年度狂犬病予防注射票交付者個票」を郵送します。予防接種を受けるときに必ず持参してください。なお、届かなくても飼い犬がいれば接種が必要です。

忘れずに予防接種を

- ◆対象…生後91日以上の全ての犬
- ◆料金…注射のみ3100円、注射と新規登録6100円(訪問注射は1000円加算) ※釣り銭が要らないように準備をお願いします
- ◆新規登録…新たに登録する場合は、▼種類▼毛色▼性別▼名前
- ▼生年月日―を接種場所係員

- ◆にお知らせください
- ◆訪問注射…巡回場所での接種が難しい場合は、訪問注射を利用してください。希望する人は5月13日(金)までに電話で申し込んでください
- ◆申し込み・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線21)



狂犬病の予防接種を実施
愛犬を狂犬病から守ろう

本年度の狂犬病予防接種を5月19日と20日、村内各地区を巡回して実施します。都合の良い時間・場所で飼い犬に予防注射を受けさせてください。



守ろう。飼い主のマナー

犬が好きならばかりではありません。苦手な人、嫌いな人もきつといます。あなたと愛犬の関係がうまくいき、毎日楽しく暮らしていても、誰かに迷惑をかけていたら正しい飼い方とはいえません。

- ①犬を放し飼いにしない
犬の放し飼いは県条例で禁止されています。夜間や早朝であっても犬を放すことはいけません。散歩に出掛けるときも、きちんと引き綱を付けてください
- ②道路や公園で排便させない
道路、公園、他人の土地などは犬のトイレではありません。みんなが気持ちよく利用できるように、散歩に出掛けるときは、ビニール袋などを携帯し、ふんの後始末をきちんとしてください

他人に迷惑や危害を加えないように、ルールとマナーを守り、家族の一員として責任を持って飼いましょう。

新たな命 誕生



東日本大震災で混乱が続いていた3月17日。村沿岸部で懸命の救助作業が行われていたころ、県立久慈病院で新しい命が誕生しました。3,166グラムで元気な産声を上げたのは、佐々木大さん(34)、文加さん(31)＝島越＝の長男・興陽君。

電話などの通信手段が失われていたため、大さんが長男誕生を知ったのは、翌日の18日。消防団員として活動していた大さんは、ラジオ放送を聞いた友人から

長男誕生の知らせを聞きました。

震災で大さんの自宅は全壊。現在は親類から借りた空き家に、家族6人で生活しています。お姉ちゃん的美野里ちゃん(小1⑤)と優花里ちゃん(3つ)に見守られ、すやすやと眠る興陽君。名前には「復興に向け動き出した田野畑村。そんな村に昇る太陽のように、そしてみんなを照らす陽光のような温かい人になってほしい」と願いが込められています。